

集落支援員だより

第33号

発行者 東和地域集落支援員
連絡先 66-2490
発行日 令和5年3月23日(木)



さわやかな風コーナー

地域に笑顔があるって

素晴らしい

人とつながりを大切にしたい

紺野真弓さん（戸沢）



私は、東和で生まれ育ち、現在も東和で生活しています。若い頃は都会に憧れ、故郷を離れた時期もありましたが、やはり生まれ育ったところが一番落ち着きます。私は、お菓子作りや手芸が好きで、普段から手作りを趣味としています。各地で行われているようなマルシェで、いつかは販売できたらなあという夢を心の中で温めていました。そんな中、昨年、東和でも女性が活躍する「とつなつながるマルシェ」が開催され、早速、会員の申し込みをし、運営

を手伝うようになりました。コロナ禍もあり、人とのつながりが希薄になりつつありましたが、「とつなつながるマルシェ」をとおして、東和に笑顔が戻ってきた事を実感しています。女性だけでなく、その家族や周りの関わる人たちの協力が増え、たくさんの人とのつながりができました。これから、継続的にマルシェを開催することで、地域に笑顔がどんどん増えると思います。私も自分のことで地域に参加し、たくさんの人とのつながりを大切にしていきたいです。

私たちのできることで地球環境を守ろう！

皆で取り組もう！フラゴミの分別『青色から透明へ』

一般ごみリサイクル率全国最低、資源物が適切に分別されていない福島県という統計結果が！（2023.1.22 福島民報新聞に掲載）

第24回東和公民館まつりで、活動の展示発表をし、更なる啓発を図りました。

（主催：東和地域婦人会）



多くの方が展示を見てくれたので、声をかけた。少しでも意識が高まればいい！
～東和地域婦人会 代表 菅野和子さん～

冬の食の手仕事 漬物 part2

杉内正子さん（針道）白菜漬け

季節々の食べ物を、皆にくれて喜ばれるのが好き。

白菜（オレンジクイーン）漬けは塩加減が難しい。子どもたちも孫たちも喜んで食べてくれるから嬉しい。



菊地 啓さん（戸沢）梅干し

母ちゃんができなくなってから食べたい声があり作り始めた。

孫が梅採りに行こうと催促するので、採ってきて漬ける。梅は、干した時がうまい！



手仕事が輝く！

作品が売れる・作って人にくれるのが楽しみ

高野文子さん（針道） 刺繍

ドイツに行ったことがあり、懐かしいから作った。（ノイシュバンシュタイン城の刺繍）



村松市夫さん（木幡） 写真



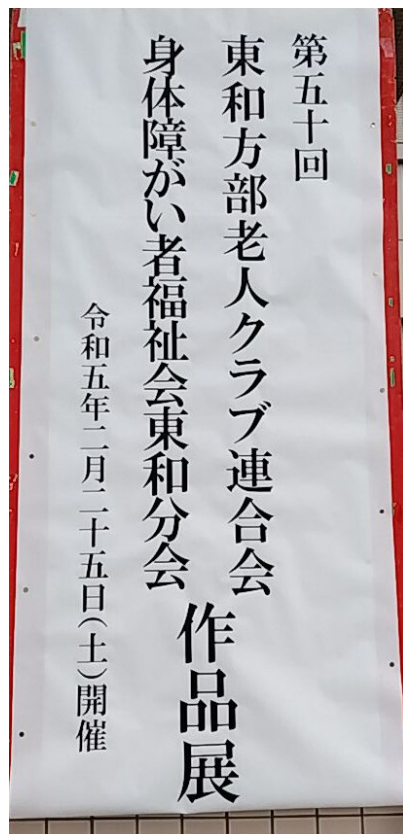
FTVカルチャーセンターの教室に通った。家の中だけにいるより、いろんなところへ出かけて写真撮ると、気分転換になるし、自分の気持ちが集中できるから楽しい。

「継続は力なり」

自分の技術を活かした作品が多い。お互いに頑張っている姿を認め合うのが目的。先輩から受け継いだ伝統を守っていきたい。～東和方部老人クラブ会長 菅野敬さん～

高野英雄さん（太田） かご

5年前に病気になってから始めた。大きい方のかごは、4日間位かかる。手先の仕事は、脳活性化するので楽しくリハビリしている。



高野孝子さん（太田）パッチワーク
配色が大変。パツとしたのが好き。

菅原文子さん（太田）

布ぞうり
友達に誘われ去年から作っている。スムーズに編めるようになったら面白い。



五十嵐フヨさん（戸沢） てっこ

若い時に洋裁やっていた。年取ったら老人クラブに出してくれないかと言われていた。若い時にやっていたので縫物は好きでやっている。

